

会 議 録

会議の名称	第3回岩倉市部活動検討懇談会
開催日時	令和7年2月20日(木)午後1時30分から午後3時00分まで
開催場所	市役所 7階 第2・3委員会室
出席者(欠席者)	有尾幸市会長 櫻井智委員 大藪かおり委員 高岡良治委員 橋詰直樹委員 宮木康夫委員 河村忍委員 武藤栄司委員 (今井秀明副会長)(滝誠志朗委員)  事務局：教育長、教育部長、学校教育課長、管理指導主事、指導主事、 学校教育グループ長、学校教育グループ主任 生涯学習グループ長、スポーツグループ長 社会教育指導員、社会体育指導員
会議の議題	(1) これまでの取組報告 ①部活動座談会(資料1) ②部活動地域連携・地域移行だよりNo.4(資料2) ③両中学校部活動顧問へのヒアリング(資料3) (2)「地域スポーツ・文化芸術創造と部活動改革に関する実行会議」 中間とりまとめ(案)概要について(資料4) (3)岩倉市における中学校部活動の地域連携・地域移行推進計画の (改訂案)について(資料5) (4)今後の具体案(モデルケース)について ①陸上地域クラブの創設に向けて(資料6) ②その他 (5)これからの方向性について(意見交換)
議事録の作成方法	<input checked="" type="checkbox"/> 要点筆記 <input type="checkbox"/> 全文記録 <input type="checkbox"/> その他
記載内容の確認方法	<input type="checkbox"/> 会議の委員長の確認を得ている <input checked="" type="checkbox"/> 出席した委員全員の確認を得ている <input type="checkbox"/> その他( )
会議に提出された資料の名称	資料1 部活動座談会報告(「岩倉市のミライのブカツをともに考えよう」のまとめ) 資料2 部活動地域連携・地域移行だよりNo.4 資料3 両中学校部活動顧問へのヒアリング結果 資料4 「地域スポーツ・文化芸術創造と部活動改革に関する実行会議」中間とりまとめ(案)概要 資料5 (改訂案)岩倉市における中学校部活動の地域連携・地域展開推進計画 資料5-1「地域連携・地域展開推進計画」に付随する詳細案

	資料6 いわくら陸上地域クラブ「ラントレ（仮称）」の創設に向けて（案） 別添 スポーツ少年団との連携体制の構築について
公開・非公開の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開
傍聴者数	0 人
その他の事項	

審議内容(発言者、発言内容、審議経過、結論等)
<p><b>1 開会</b></p> <p><b>2 あいさつ</b></p> <p><b>教育長：</b>本会議は令和5年度から年3回、本日を含めて計6回行ってきましたが、今回で最終となります。この間、各種アンケートや地域団体への説明会、部活動座談会などを行ってきました、後程の提案とも関係しますので、まずは令和6年12月24日に開催した部活動座談会の動画を先に見ていただきたいです。</p> <p><b>動画視聴</b></p> <p><b>教育長：</b>この座談会に参加した大人の意見としては、小中学生の意見を大事にしたいという内容が目立ちました。座談会を通して子どもの意見が重要であるという共通の認識が持てたと思います。このように直接対話をすると、アンケートだけでは把握できない様々な思いが伝わってきます。今後も具体案を進めるにあたっては、関係者との直接対話を重視したいと思います。</p> <p><b>3 議題</b></p> <p><b>議題（1）これまでの取組報告</b></p> <p><b>事務局：</b>資料1に基づき説明</p> <p><b>事務局：</b>資料2に基づき説明</p> <p><b>事務局：</b>資料3に基づき説明</p> <p><b>会長：</b>座談会について、意見や感想をお願いします。</p> <p><b>委員：</b>子どもたちのいろいろな意見が聞けて良かったと思います。</p> <p><b>委員：</b>子どもたちがすごく前向きな意見を持っていて、子どもたちの力を感しました。子どもたちの意見を踏まえてこの会議でも前向きに議論を進めていけたらと思います。</p>

**委員**：座談会には不参加でした。座談会に参加する子はもともと前向きな子だと思います。子どもたち全員の意見ではないことは意識していきたいと思います。

**委員**：自分たちで決めたルールは子どもたちも守ると思います。当事者である子どもたちに自主的に決めてもらうのはよいことだと見えています。

**会長**：学校から見て、子どもたちの主体的な活動についての見通しを教えてください。

**委員**：部活動を経験している中学生の目から見ると今の状況が大きく変わることは気になります。しかし、小学生の意見を聞いて、部活動は大会に勝つから楽しいという自分の価値観を崩す必要性を感じました。ただ、座談会に来た子どもの意見が全てではないので、他の子どもたちや教員の意見を聞いて常に考え方を変えていく必要があるため、まだまだ時間がかかると思います。

**委員**：座談会に出席した時の小学生の考えからも、本当に楽しみたい子どもたちが増えているのは間違いないと思いました。ただ、頑張りたい子もいますので、その子たちにとっては、教員が見守るだけでは技術的なところが育たないと思います。子どもが自分たちで練習方法を調べることも大切ですが、短時間では難しいため、時間が必要だと感じます。

**委員**：座談会に出席して、自分が原点として確認したのは、地域移行が目的ではなく、子どもたちの活動の場を地域と共に探っていくことです。岩倉市の段階的な方法は実現に時間がかかりますが、間違っていないと思いますので、今の方向性は維持したいと考えています。

座談会では、部活動を実際に知らない小学生も、知っている中学生もそれぞれの立場から意見があったと思いますが、子どもたちが理解し合えるよう、時間がかかっても一步一步進めたいと思います。

**議題（２）「地域スポーツ・文化芸術創造と部活動改革に関する実行会議」中間とりまとめ（案）概要について（資料４）**

**議題（３）岩倉市における中学校部活動の地域連携・地域移行推進計画の（改訂案）について（資料５）**

**事務局**：資料４に基づき説明。地域移行から地域展開に表現を変えるなどの変更がありました。

**事務局**：資料５、資料５－１に基づき説明。市の計画も「地域展開」に表現を変えるとともに、「具体的な方針」と「令和８年度以降の行程表」を新たに付け加えました。

**会長**：新しい言葉が多いため、不明な点についてご質問をお願いします。

**委員**：「地域部活動」という言葉は、「学校部活動」や「地域クラブ」とどう違うのですか。

**教育長**：違いについては精査していません。「地域部活動」と「地域クラブ」は同じ意味で使っています。

**委員**：「地域クラブ」は「クラブチーム」と違って、営利目的ではないというイメージでよいですか。

**教育長**：そのイメージです。「地域クラブ」を「クラブチーム」と混同しないために「地域部活動」と言いかえた箇所があります。

**委員**：「学校部活動」と「地域部活動」の違いについて、学校が運営主体であれば部活動指導員が参加していても「学校部活動」、営利目的ではない地域団体が運営主体であれば「地域部活動」という判断でよいですか。

**事務局**：主な違いは運営主体がどちらにあるかであると考えます。

**会長**：地域活動の公認性が必要と判断される理由について具体例を教えてください。

**教育長**：一番要望が多いのはダンス部です。子ども自身はダンスだけに打ち込みたいけど、学校における評価に不安があるため野球部にも所属しているという事例があります。今までも地域活動での表彰等で申告があれば学校でも表彰や評価をしていましたが、部活動と同じように認められるかどうか気になるので、そういった部分を保証する制度を用意したいという提案です。

**委員**：地域活動体験会について、市民吹奏楽団を体験した小学校4年生がやりたいと希望をしても学校に楽器はないため、活動できない状況です。どのような予定ですか。

**教育長**：中学生が参加できる地域活動であることを宣伝しても見たり体験したりしたことがないと興味が湧かないため、活動紹介の機会を用意することを目的としたものです。午前、午後2時間ずつの2枠を市内の小中学校計7校で行えば14枠、体育館と運動場も使えば28枠となります。平日の開催予定のため、参加可能団体数や団体ごとの受入人数も未知数ですし、音楽室等の特定の教室希望などの場所の割り当てや、実費の必要性、当日の服装等の問題もあります。

それらを集約して受け入れ団体をまとめた後、子どもたちに示して募集する予定です。希望数によっては抽選制になる可能性もあります。各団体から意見を頂きつつ、会場の運営についても考えていく必要があると思います。

**委員**：岩倉スポーツクラブの会長をしています、スポーツ少年団とあまり競技が重ならないように意識しながら運営しています。これまで部活動として成り立っていた競技については、平日休日を含めた指導者の確保が必要となっていくため、徐々に動いていくことになると思っています。

**委員**：公認性について、岩倉スポーツクラブとの兼ね合いについて教えてください。

**教育長**：中学校の卓球部の子どもたちが日曜日のスポーツ少年団にも参加しています。このように小学生、中学生と一緒にできる種目については、スポーツ少年団が受け皿のままでよいと考えています。このように営利目的ではなく安価な値段で受け入れてくださる団体には、公認を出していくこととなります。

一方で、小学生と中学生でコートやネットのサイズが違う等、一緒にできない競技の場合は新たに受け皿を用意する必要があります。そのような団体には岩倉スポーツクラブに所属することで、新たな受け皿となっていただきます。

公認制は今までの部活動と同様に評価される団体であるという安心感を与えることが目的となります。公認団体の全員が岩倉スポーツクラブに所属する必要があるという訳ではありません。

**委員**：ダンスは学校の部活動に今はありませんが、地域クラブの1つとしてダンスが公認されるということによろしいですか。

**教育長**：ダンスは公認の対象になると思います。

**委員**：今後の公認見込みについて教えてください。

**教育長**：今学校で紹介している活動は公認してよいと思います。ただ、その中で営利目的の活動があれば公認から外れることになると思います。

**会長**：公認は兼職兼業への影響が発生しますか。

**教育長**：教職員が時間外に学校以外の活動の指導をする場合は兼職兼業の提出が必要な可能性があります。

**委員**：地域展開のスケジュールについて、令和8年9月から地域展開を行うことを明記するのであれば、令和8年9月以降は特定の大会には出場できないことを入学時にアナウンスする必要があります。

**教育長：**柔道の場合、合同部活動が休日のため大会は学校単位ではなく岩倉市単位で参加することが現実的だと思います。二人以上の引率責任者が必要となるため、計画を示したとしても、令和8年9月から実施できるかどうかはこれから相談する必要があります。

**委員：**令和8年9月に柔道部、サッカー部を開始するのは難しいと思います。開始時期は未定でもいいですか。

**教育長：**未定でも構いません。関係者の合意が取れたところから始めたいと思います。

**会長：**開始するための流れを示してくださるのは心強く感じます。地域移行と地域展開の違いは何かありますか。

**教育長：**同義だと思います。「移行」という学校との連携を強調した「展開」に変えただけだと思います。

#### **議題（４）今後の具体案（モデルケース）について**

##### **①陸上地域クラブの創設に向けて（資料６）**

##### **②その他**

**スポーツグループ長：**資料６に基づき説明。

**委員：**サッカーと柔道のモデルケースは子どもの反応も良く、課題はありつつも教員の負担は減っています。現状は部活動指導員と両校の教員を顧問としていますが、今後は部活動指導員とどちらか1校の教員を顧問にしていきたいと思っています。

まだ決まっていませんが、柔道やサッカー以外にも進めていきたいと考えています。バレー部の部活動指導サポーターと保護者の方から、部活動の時間が減ってきている、岩倉中学校は体育館の割り当てが少ないとの意見があるため、学校の部活動から切り離して、日曜日の夜に中学生以外も参加できるようにするなど、機会を増やしていきたいと思っています。行き過ぎとも困るので、学校も関わることでブレーキを掛けられるようにしつつ、モデルケースとして進めていきたいです。

**会長：**地域スポーツクラブとスポーツ少年団の連携について、課題はありますか。

**委員：**団体としては繋がっていますが、指導者としては繋がっておらず、お互いの顔を知っている程度です。

**会長：**責任者の連携はとれるということですね。承知しました。

## 議題（５）これからの方向性について（意見交換）

**会長：**今回で部活動検討懇談会は終了となり、今後は事務局が進めていくこととなります。自由な意見交換を感想、希望、期待を含めて、1人1人頂きたいと思います。

**委員：**2年間お世話になりました。最初は割と簡単な気持ちでやってみればよいと思っていましたが、進めていくうちに問題が発生していくのを見て、難しい課題に取り組ませていただいたと思います。大人だけで決めず、子どもたちの意見を取り入れながら進めて頂きたいです。

**委員：**保護者目線で参加したのですが、難しいことが多いため、子どもと保護者が不安にならないように進めて欲しいと思います。

**委員：**中学校、高校での自分の経験から、部活動を通じて教員と子どもとの距離が近づくこともあるのに、地域に移行するのはどうなのかという気持ちもあります。部活動の時間が減少したことで教員が子どもと向き合う時間ができるのかどうかという気持ちもあり、小学生にはいろいろな興味付けをして触れてもらいたい気持ちもあります。いろいろな方が様々な気持ちを持って動いていることを伝えたいと思います。

**委員：**2年間ありがとうございました。2年間の関わりで、当初から意識が大分変わりました。昔の毎日行うイメージを一端フラットな状態にし、何もない状況からスタートするとして、週3日もやれる、休日も1日できるという意識になっています。

勝ちたい子と、楽しく活動したい子の活動内容は別でもよいと思います。今までの部活動を知らない子が楽しい活動だけを追求すると仲良しクラブになってしまっ、全国大会を目指す子はクラブチームでやることになってしまおうと思いますし、熱意のある指導者が仲良しクラブで指導するのは難しいため、限られた時間で効率よく指導するのであれば、子どもたち自身の話を聞いて、それぞれの希望にあった対応を出来たらと思います。

部活動座談会のように子どもたちの意見を聞きながら進めていくのはよいことだと感じます。小学生や保護者は地域連携について不安な部分もありますし、これから部活動に参加していく小学生にはどのような部活動があるのか紹介して頂けたらと思います。

岩倉市民吹奏楽団も定期演奏会とかに来ていただいて、演奏を聞いてもらうことで、小学生とかでも格好いいからやりたいという子どももいるので、そういうところもPRしていただくと非常にありがたいと思います。

**委員：**自分の学生時代に怖い先生との関わりで、先生も柔道も嫌いになってしまったことがあります。部活動の地域展開では子どもたちがスポーツや文化を楽しむことで、成長してから地域に

繋がっていく形にしていけたらと思います。部活動検討懇談会は終了となっても情報発信や連携等を継続する必要があると感じています。

**委員：**大会の在り方等が全国で議論されている中で、中学校や岩倉市内で可能なことに取り組んできました。

部活動をやめた子どもたちがゲームをするのではなく、いろいろなことに参加するようになりたいと最初の頃に話していたことについて、少しずつ形にしていくことで生涯に渡ってスポーツや文化活動に子どもたちが関わっていく方向に進んでいくと思います。

子どもたちにとってのスポーツや文化活動が大会で勝利することだけではなく、未来に大人になってからの在り方にも影響があることを指導者も理解した上で、子どもたちや保護者だけではなく市民全体へ伝えていけたらよいと思います。

**委員：**PTAの方から毎回必ず子どもたちのことを考えて下さいとお言葉をいただきました。今後もそれを大事にしていきたいです。

子ども、保護者、教員はそれぞれ価値観が違いますので、きちんと話し合いをしながら進めていきたいと思っています。

**会長：**皆様からそれぞれの立場で意見を頂き、方向性が見えてきたことを大変有難く思っています。皆様はじめ、事務局の方々にも敬意を表したいと思います。

ありがとうございました

**事務局：**2年間ありがとうございました。今後は事務局で進捗管理しますが、今後も引き続きよろしく願います。